

○ 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化する中、田布施川水系においても、流域全体でハード・ソフト一体となった事前防災対策を進める必要があることから、あらゆる関係者の協働により、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修
- ・高潮対策
- ・河川浚渫
- ・排水機場の老朽化対策
- ・海岸保全施設の老朽化対策
- ・下水道施設の整備・保全
- ・農業水利施設の適切な運用・保全
- ・水田の貯留機能向上
- ・森林の整備・保全及び治山対策

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・防災まちづくりの検討に必要な情報の整備

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知
- ・河川監視体制の強化
- ・防災指令拠点施設・総合防災情報システムの整備
- ・防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達
- ・出前講座等を活用した防災教育の推進
- ・防災士等の人材の育成・確保
- ・自主防災組織の育成や活動の支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進
- ・下水道施設の耐水化
- ・防災拠点の代替施設等の整備
- ・防災拠点となる本庁舎の整備

施工前(中央橋上流部)



福島堰

施工後(中央橋上流部)

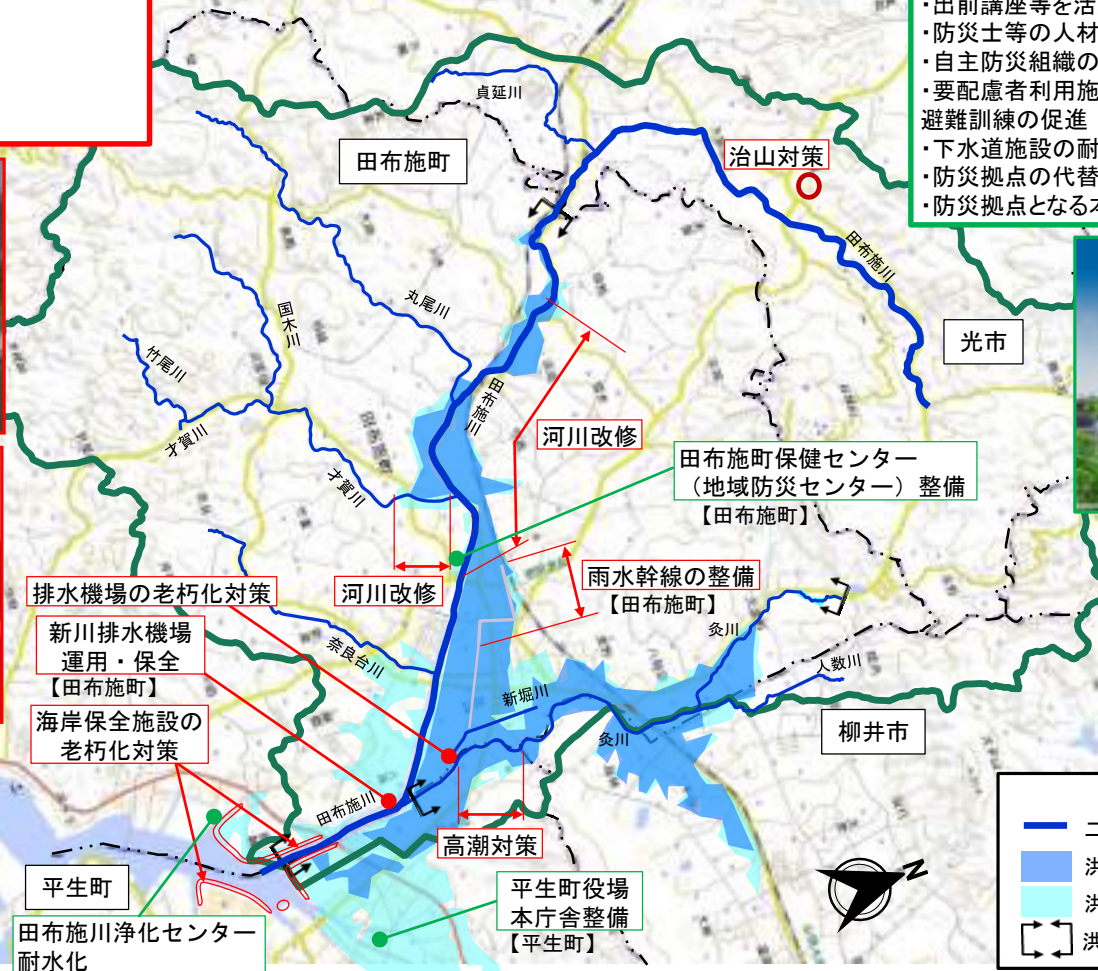


福島堰

過去の浸水状況(H5.8)



浸水箇所



田布施町保健センター
(地域防災センター)
完成予想図



【位置図】



凡例

- 二級河川
- 流域界
- 洪水浸水想定区域【計画規模(1/30)】
- 洪水浸水想定区域【想定最大】
- 洪水浸水想定区域の公表済み区間

※地理院地図に浸水想定範囲を追記して掲載

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 田布施川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の工程で「流域治水」を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修	山口県	護岸工、橋梁工、河道掘削工等		
	高潮対策	山口県	防潮堤工、橋梁工、河道掘削工等		
	河川浚渫	山口県、光市、田布施町	河川浚渫		
	排水機場の老朽化対策	山口県	継続的に施設の機能を保全		
	海岸保全施設の老朽化対策	山口県	麻郷地区海岸、平生町地区海岸	継続的に施設の機能を保全	
	下水道施設の整備・保全	田布施町	中央雨水幹線整備		
	農業水利施設の適切な運用・保全	田布施町	新川排水機場の運用・保全		
	水田の貯留機能向上	山口県、光市、柳井市、田布施町	田んぼダムの検討等		
	森林の整備・保全及び治山対策	山口県、光市、柳井市、田布施町	森林の整備・保全、治山対策		
被害対象を減少させるための対策	防災まちづくりの検討に必要な情報の整備	山口県	多段階な浸水リスク情報		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知	山口県、光市、柳井市、田布施町、平生町	作成・周知・利活用		
	河川監視体制の強化	山口県、光市、柳井市、田布施町、平生町	システム更新	山口県土木防災情報システムのリニューアル 簡易型水位計・河川監視カメラ等の整備・利活用	
	防災指令拠点施設・総合防災情報システムの整備	光市	R5整備	運用	
	防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達	山口県、光市、柳井市、田布施町、平生町	機能強化・普及・啓発		
	出前講座等を活用した防災教育の推進	山口県、光市、柳井市、田布施町、平生町	防災教育の充実・強化		
	防災士等の人材の育成・確保	光市、柳井市、田布施町、平生町	防災士資格取得経費の補助		
	自主防災組織の育成や活動の支援	山口県、光市、柳井市、田布施町、平生町	率先避難体制の整備・地域防災力の向上		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進	山口県、光市、柳井市、田布施町、平生町	避難の実効性確保		
	下水道施設の耐水化	山口県	田布施川浄化センター(揚水施設、消毒施設)		
	防災拠点の代替施設等の整備	田布施町	R4整備	田布施町保健センター(地域防災センター)の運用	
	防災拠点となる本庁舎の整備	平生町	R4整備	役場新庁舎の運用	

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進

※工程については、今後の事業進捗によって変更となる場合がある。